

いっこうに改善されない水質

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

今年の私どもの念願は「真光寺川まつり」を再開することでした。5月末、有志が下堰親水に集まり開催の是非を検討いたしました。残念ながら昨年に引き続き中止と決まりました。

私どもが第1回「真光寺川まつり」を開催したのは2002年のことでした。子供たちが川に親んでもらいたいという願いからです。回を重ねる毎に年々盛んになり多くの子供たちでにぎわってきました。夏の恒例の行事として定着したように思いました。

中止に追い込まれたのは2010年のことでした。水質が悪化し大量のコイが死んだためです。翌2011年にはどうにか再開に漕ぎつけましたが、昨年は又中止せざるをえませんでした。そして今年も引続き開催を見送ることになってしまいました。子供たちに川遊びを楽しんでもらえる環境にないと判断したからです。

市の定期検査によりますと、水質を示す BOD は以前よりかなり悪化してしまいました。鶴見川水域の「子供が遊べる水の基準」をオーバーしているのです。それに加え茶褐色の藻の発生です。川底に密生しているばかりでなく、水温が上昇すると大量の塊となって浮遊してきます。明らかに水質の悪化を示しています。原因は色々考えられます。広袴公園のヘドロ、上流域にある乗馬クラブからの汚染水、湧水が乏しく流量が少ないこと等です。都市部の河川としてどのような環境改善策があるのか、私どもは新しい課題を突き付けられています。

{2月}

2月7日(木) 里親通信発行・一木会

14時から支所で里親通信2月号を印刷し、関係先に配布する。夕方、魚民で一木会。生協とのタイアップ、恒例の散策の計画につき打合せ。

2月10日(日) 境川遊水地散策

恒例の散策。参加者8名。小田急「湘南台」で下車。「湘南台公園」は境川の広々とした河川敷に造られている。一部造成中の場所もあったが自然を残す工夫がほどこされており気持ちがいい。鱈神社を経て鷺舞橋近辺で昼食休憩。古い民家のある天王森泉公園は湧水多くアイリスやタンポポが咲き乱れている。しばらく歩いて以前横浜ドリームランドだったドリームハイツに到着。今は公園墓地にもなっており樹木葬の区画もある。ドリームハイツからバス20分で湘南台へ。好天に恵まれ快適な散策の日だった。

2月12日(火) 水質改善につき南東建と打合せ

吉原都議のご斡旋により開催された。吉原都議いわせ市議、南東東・所長・副所長・管理課長能カ谷・広袴・真光寺町内会長、清流の会5名

が出席。1時間余り最近悪化してきた水質改善策につき討議した。水質悪化は複合した要因が絡んでおり、容易に解決される課題ではない。然し、行政・地元住民・市民団体が共通の認識を持ち、協力することになったのは心強い。次回は現地で真光寺川の実情を踏まえて打合せることになった。

{3月}

3月7日(木) 里親通信発行と一木会開催

14時から支所で里親通信3月号を印刷し関係先に配信する。18時から魚民で一木会を開催これまで毎月発行してきた里親通信を、偶数月発行の隔月刊にすることになる。

3月10日(日) 清掃作業

微風快晴。女子高校生2名と平和台の方が応援に加わる。参加者17名。3ヶ月ぶりでゴミは多い。小魚の群れも見えた。水温が上がるにつれて茶褐色の藻の活動も活発になるようである。

3月22日 鶴三小卒業式

今年も96名の子供たちが巣立っていった。皆の

前で元気よく将来の抱負語る子供たちの眼は輝いていた。洋々たる前途を祈らずにはいらなかった。

{4月}

4月5日(金)「悠々園」下見

矢崎橋の畔にある社会福祉法人悠々園から出前講座の依頼があったので下見を兼ね打合せに伺う。対象はデイサービスのご老人方。

4月9日(火) 里親通信の発行と一木会開催

14時から支所で里親通信4月号を印刷し学校等に配布する。18時から魚民で一木会を開催。●●の高齢化と新規会員の補強について話し合う。

4月14日(日) 清掃作業

快晴微風、日差しが快い。みどりの森の園児と園長も参加する。矢崎橋の手前に大型のガラスの扉が投棄されている。我々の手に余るので南東建に依頼することにする。茶褐色の藻の塊が多く流れていた。

4月16日(火) 南東建と現地打合せ

2月に実施された打合せにもとずき現地で具体

的に検討する運びとなった。吉川都議、南東建関係者、会員7名が広袴公園に集合。川の現状を観察しながら矢崎橋まで1時間半かけて歩く。看板・標識の設置、蛇籠の設置、川の中の樹木の伐採等が決められた。現場で具体的に決めることができたことは、極めて有意義であった。

4月19日(金)「悠々園」出前講座

午後伺う。市の生涯学習センターからも3名見えていた。「真光寺川の今昔」についてお話する。これから毎月、3グループに対してもお話してほしいと依頼される。

{5月}

5月9日(木) 里親通信発行と一木会開催

支所で里親通信・5月号を印刷し配布する。夕方、魚民で一木会開催、水質改善策につき討議。又、源流探索が提案される。

5月12日(日) 清掃作業

夏の日差し暑い。平和台の高校生兄弟も参加する。参加者20名。いつもより多い。水温も上がり魚の群れも多く見られる。冬眠から覚めた青大将がとぐろを巻いていた。

5月17日(金) 源流探索

久しぶりに源流探索。好天に恵まれる。飯守神社周辺の数ヶ所を探索する。全般的に水が濁れてきているのが印象的である。真光寺川の水質悪化の原因として流量の減少が考えられるがそれは源流の湧水の枯渇にもあるのではないかと。心無い者の仕業であろう、奥深い所に自動車等大型ゴミが不法投棄されているのが目についた。昼過ぎに解散。

5月26日(日)「まつり」開催の是非を検討

10時、有志数名が下堰親水に集まる。最近の流れの様子から懸念していたが相変わらず水は青黒く透明でない。それに川底には褐色の藻が密生している。さまざまな意見が出され、なかなか結論が出ない。最終的に、子供たちに気持ちよく遊んでもらう環境ではないということで不本意ながら今年も中止と決定した。(この項おわり)



吉原都議と現地で検討